

# 受注No別原価表

受注No原価表では、受注データとその受注の原価となる伝票のデータを集計し、一覧で表示することができます。原価となる伝票については、伝票で受注Noを指定している仕入・出庫・切斷・生産・加工の伝票が対象となります。

※指示画面の操作方法などは「帳票出力・基本操作」を参照してください。

## 1) 指示画面内容 補足

指示画面の項目で、画面の表記内容だけではわかりにくい項目を以下に説明します。

### ① 帳票種別

- ・ 受注No別合計表 ⇒ 受注Noごとに原価の合計を集計します。
- ・ 受注No別明細表 ⇒ 受注Noごとに原価として紐づく伝票の明細を集計します。
- ・ 受注行No別合計表 ⇒ 受注行Noごとに原価の合計を集計します。
- ・ 受注行No別明細表 ⇒ 受注行Noごとに原価として紐づく伝票の明細を集計します。

## 2) 詳細設定画面内容 補足

### ② データ選択

- ・ 受注 : 仕入 ⇒ 受注を左側、原価として紐づく伝票データを右側に出力します。
- ・ 売上 : 仕入 ⇒ 売上を左側、原価として紐づく伝票データを右側に出力します。

### ③ 納品状況

「全て」か「受注残」の受注Noのみ対象とするか、「完納」である受注Noのみ対象とするか選択できます。

受注No別の出力の場合、「受注残」「完納」は受注伝票単位での判定になります。

「完納」を出力する場合、複数明細がある受注伝票で1明細でも受注残の場合は出力されません。

### ④ 得意先の担当者、

伝票担当者の担当者ではなく、得意先に設定されている事業所が抽出の対象となります。

### ⑤ 完納日

「完納」状態となっている受注データのリレー計上した売上传票の最終日がいつからいつまでのものを抜粋するか指定できます。

例えば、10月に売上したものの粗利だけ知りたい場合、納品状況で「完納」を選択し、完納日で10月1日～10月31日を指定します。

### ⑥ 商品分類

明細商品の商品分類で絞り込むため、受注行No別出力の場合のみ指定できます。

### ⑦ 得意先の事業所

伝票担当者の事業所ではなく、得意先に設定されている事業所が抽出の対象となります。

## 2) 原価集計対象の伝票について

伝票入力画面で受注Noを入力している伝票が対象です。

明細入力項目に受注No+受注行Noが入力できる伝票の場合は、基本情報で設定した受注Noより優先されます

<その他条件>

伝票	条件
仕入	基本情報の「計上」チェックがONの伝票を集計します。
出庫	特になし
切斷	特になし
生産	構成品行の金額を集計します。構成品行の金額が0の場合や、伝票機能設定の「材料とは別に構成品や加工費を入力する」のチェックがOFFの場合は、材料行の金額を集計します。 日付は「開始日」となります。
加工	加工区分が実績の伝票が対象となります。 日付は「加工完成日」となります。